

建設工学製図

教 科	工業	単位数	2	学科・学年	建設工学科建築類型2年生	担当	建設工学科職員
使用教科書	「建築設計製図」(実教出版)			副教材等			

◇ 学習の到達目標 ◇

製図に関する日本工業規格及び建築科の専門分野の製図について、基礎的な知識と技術を習得し、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てます。

◇ 科目の特色 ◇

建築製図の基礎・基本的な知識と技術を学習し、それを活用して各種用途・構造を持つ建築物の図面を作成して体験的に建築を学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 1 9	第4章 木構造の設計製図(実教出版) 木造平家専用住宅の設計製図 かなばかり図 基礎伏図 床伏図 小屋伏図 全国建築製図コンクール課題2	<ul style="list-style-type: none"> ・木造平家建専用住宅の図面を模写することで各図面の役割や表し方を理解する。 ・かなばかり図・基礎伏図・床伏図・小屋伏図・軒先詳細図を模写することで図面の役割や記入すべき事項、および作図の順序を理解する。 ・造園計画の進め方を理解する。 ・屋根伏計画と立面計画を理解する。
10 1 3	木造2階建専用住宅の設計製図 配置図+1・2階平面図 立面図+断面図 断面詳細図 軸組図	<ul style="list-style-type: none"> ・木造2階建専用住宅の図面を模写することで各図面の役割や表し方を理解する。 ・配置図・平面図・立面図・断面図・断面詳細図・軸組図を模写することで図面の役割や記入すべき事項、および作図の順序を理解する。

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築製図に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	建築製図に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築物について考え、またその解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫できるか。
技能	建築製図に関する基礎的な知識と技術を身に付け、製図の特徴や材料の特性を図などに表現できるか。また関連科目などにおいて各部の名称や寸法を適切に理解・表現できるか。
知識・理解	建築製図に関する基礎的な知識と技術を身に付け、産業社会や生活文化における建築技術の意義や役割を理解しているか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

①授業中における姿勢と態度 ②課題及び提出状況 ③自己評価、授業評価等
また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

授業では、万能製図機械(ドラフター)を利用しますが、建築士の製図試験会にはドラフターは持ち込めませんので家庭学習でのT定規を使用しての手作業にもしっかり取り組んでください。また、各課題の提出期限は厳守してください。遅れると大幅な減点になりますので計画的に取り組みましょう。提出された課題は返却しますので、そこでのアドバイスをもとにさらにレベルアップを心掛けましょう。